

# 地球は 面白い

本場のキルトをこの目で見た  
 と思う、スコットランドに行  
 く。最も気温が高そうな八月中  
 旬を選んで出かけたが、エディ  
 ンバラに到着すると、セーター  
 だけでは震えがきた。駅前の革  
 製品の店にかけこみ、革のシャ  
 ケットを買って着込んだ。

キルトとはタータン・チェッ  
 ク柄の巻きスカートに似た、北  
 部スコットランドの男性の民族  
 衣装である。スコットランドに  
 は地縁血縁で結びついた氏族  
 (クラン)があり、タータン・  
 チェックの柄は氏族をあらわす  
 紋章のような意味をもつ。現代  
 ではキルトはほとんど正装とし  
 てのみ着用されるとのこと。  
 イギリスはイングランド、ス  
 コットランド、ウェールズ、そ

## 中野 香織

### イギリス・エディンバラ

イングランドとの関係においては  
 政治的な役割を担って着られた  
 ことも少ない。  
 ちょうどエディンバラ・フェ  
 スティバルの最中だったせい  
 か、バグパイプをもち、キルト  
 で正装した男性を何度か見かけ  
 る。スコットランドにきたとい  
 う高揚と、観光客としてサービ  
 スされているという気恥ずかし  
 ド人の多くは今なお独立した国  
 家を持ちたいと願っているとい  
 う。キルトはスコットランドの  
 誇りを象徴する服でもあり、イ  
 ミリタリー・タトゥー」なる

宣伝をする人々を見かける。タ  
 トゥーとは入れ墨のこと、と思  
 い込んでいたので、エディンバ  
 ラ城で軍隊式入れ墨をしていく  
 が観光の定番なのかといふか  
 ったまま、寒さに負けて暖かい  
 宿に戻る。入れ墨とは無関係な  
 バグパイプのバンドを中心とす  
 る華やかな軍楽隊のパフォーマ  
 ンス・ショーのこと、と知った  
 のは帰国後のことである。  
 エディンバラとタトゥーと  
 れば入れ墨、と思ひ込ませたの  
 は、ジョン・コネリーである。

## キルトと入れ墨と007

エディンバラが  
 生んだこの俳優  
 は、十六歳の時

に入れた入れ墨が右腕に二つあ  
 ることで知られている。そのう  
 ちの一つが「スコットランド・  
 フォーエバー」。二〇〇〇年七  
 月にエディンバラのホリルド  
 宮殿でエリザベス女王からナイ  
 ト勲章を授けられたとき、彼はキ  
 ルトの正装でこれを受けた。

サー・ジョン・コネリーの  
 もう一つの入れ墨？ 007の  
 勲章としては、ややお茶目かも  
 しない。「ママとパパ」であ  
 る。(服飾史家)



イラスト・下田 一貴